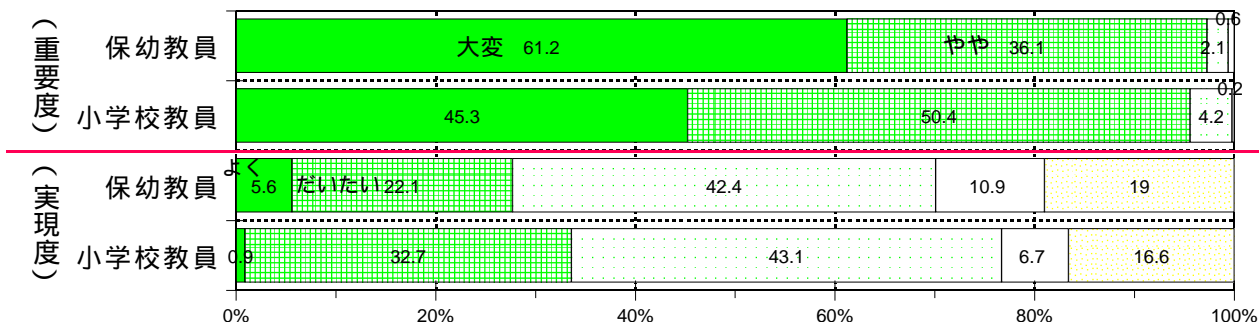


参考資料

保幼小連携は重要だが、実現していない。

資料1 前橋市幼児教育センター「幼児教育と小学校教育との連携に関する調査」

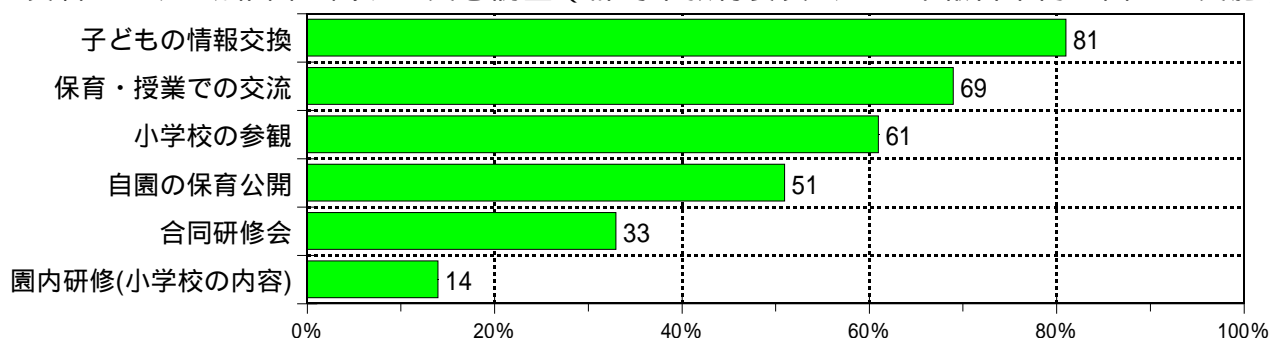
(実施時期2005年7月 前橋市内保育所・幼稚園や小学校で実施)



保幼小教員の9割以上が保幼小連携の推進について重要であると考えているが、実際に実現していると思っているのは3割程度である。今後、保幼小連携を意図的・計画的に推進していくことが大切である。

情報交換や交流活動は行われているが、教育内容の理解は進んでいない。

資料2 公立幼稚園に関する実態調査(群馬県教育委員会2007年報告県内96園にて実施)

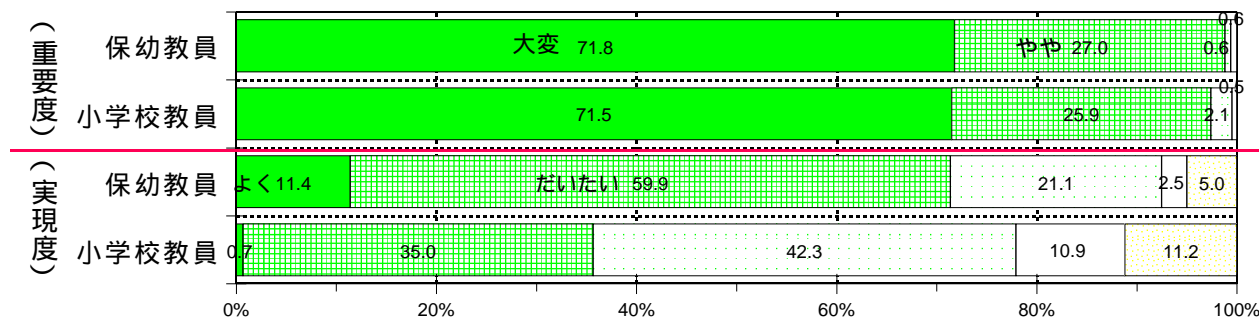


子どもの情報交換は81%で、小学校入学後の生活指導がスムーズに移行できるように多くの幼稚園と小学校で行われている。子どもたちどうしの保育・授業での交流、教員の交流活動は半数以上の園で実施されている。合同研修会や小学校の教育内容についての園内研修の割合は低く、十分に進んでいるとはいえない感じがする。

「話を聞く」の実現度は、幼小の教員で見方がちがう。

資料3 前橋市幼児教育センター(2005年7月前橋市内保育所・幼稚園や小学校で実施)

質問10「全体への教師の話を、手悪さをしたりおしゃべりをしないで聞くこと」



保幼小教員の95%以上が「話を聞くこと」について重要であると考えているが、実現していると思っている割合は、保幼教員が71.3%で、小学校教員は35.7%と大差が生じている。これは、保幼教員と小学校教員の子どもの見方や子どもへの願いが異なっているからではないかと考えられる。

資料4 伊勢崎市内 2 幼稚園 2 小学校「話をしっかり聞く」についての教育観  
聞き取り調査のまとめ（2007年5月・7月）

〔幼稚園〕

- ・ 幼児どうしの遊びの中で自分の思いが出せるようになると、みんなで集まったときにも話が聞けるようになる。
- ・ 個の聞く力を育てることにより、集団としての話を聞く力を育てる。
- ・ 相手が何を伝えようとしているのか、耳だけでなく、心を傾けて相手の話を理解しようとする姿勢をもたせることが大事。

〔小学校〕

- ・ 話している人の顔を見て、おしゃべりをしないで聞いてほしい。
- ・ 話を聞いていないと勉強が分からなくなり、他人に迷惑をかけることにもなる。
- ・ 子どもたちが、話をしっかり聞けるように、授業を飽きさせないための展開の工夫や集団の中で話を聞くときのルールを明確にすることが大切。
- ・ 「話をしっかり聞くこと」が、学習する上で一番の基本で大切。